

# 地域福祉や市民活動に関する市民意識調査

## 【調査ご協力をお願い】

皆さまには、日ごろから本市の保健福祉行政にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年度に「地域包括ケア推進計画」（これまでの「小牧市高齢者保健福祉計画」と「地域福祉計画」を一体的に策定）を策定するにあたり、このたび皆さまの生活状況やご要望、地域福祉活動に関する状況等を把握し、計画の基礎資料とするためアンケート調査を実施することにいたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年1月

小牧市長 山下 史守朗

- ※ この調査票は、住民基本台帳を基に15歳以上（令和4年4月1日現在）の方の中から3,000人を無作為抽出して送付させていただきました。
- ※ 回答された調査内容は、市の地域包括ケア推進計画策定の基礎的な資料として利用させていただくものであり、個々の回答内容が他に漏れたりすることは一切ありません。

### 【調査票記入にあたって】

- 1 記入は、鉛筆、あるいは黒または青のボールペンでお願いいたします。
- 2 調査票の回答は、できる限り宛名の方ご本人（困難な場合はご家族の方の代筆でも可）が記入してください。
- 3 回答は、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。  
回答数は、各設問文に指定（(○は1つ) や (○はいくつでも) など）してありますので、それに従って回答してください。
- 4 その他の（ ）内には、具体的な内容を書いてください。
- 5 設問や選択肢によって、ある条件の方のみ答えていただくものがありますので、その説明に従い、最後まで記入してください。
- 6 この調査票の記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずにそのまま、2月 日（ ）までに郵便ポストへ投函してください。

なお、この調査はwebでも回答できます。

QRコード

回答に際してご不明な点や、この調査に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

小牧市役所 地域包括ケア推進課 電話 0568-76-1188

## A あなたの年齢、ご家族などについておたずねします

問1 あなたの年齢をお答えください。（令和5年1月1日現在）

満  歳

問2 あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

1. 男性                      2. 女性

問3 現在、あなたが同居している家族の構成は次のどれですか。（○は1つだけ）

1. 一人暮らし                      2. 夫婦のみ（一世代世帯）  
 3. 親と子（二世帯世帯）              4. 祖父母と親と子（三世帯世帯）  
 5. その他（                      ）

問4 あなたのお住まいの小学校区は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

1. 小牧小学校区    2. 村中小学校区    3. 小牧南小学校区    4. 三ツ淵小学校区  
 5. 味岡小学校区    6. 篠岡小学校区    7. 北里小学校区    8. 米野小学校区  
 9. 一色小学校区    10. 小木小学校区    11. 小牧原小学校区    12. 本庄小学校区  
 13. 桃ヶ丘小学校区    14. 陶小学校区    15. 光ヶ丘小学校区    16. 大城小学校区

※小学校区がわからない方は、町名をご記入ください 小牧市 \_\_\_\_\_

問5 あなたの就業・就学状況は次のどれですか。（○は1つだけ）

1. 自営業（農林業等従事者も含む）              2. 会社員等（会社役員・専門職も含む）  
 3. 公務員・教員              4. パート・アルバイト              5. 学生・専門学校生  
 6. 無職（家事従事者も含む）              7. その他（                      ）

問6 あなたのお住まいは次のどれですか。（○は1つだけ）

1. 一戸建て持ち家    2. 分譲マンション    3. 借家・賃貸マンション・アパート  
 4. 社宅・寮・官公舎    5. 公営・公団住宅    6. その他（                      ）

## B 福祉の考え方等についておたずねします

問7 小牧市は、「地域活動（自治会活動や防犯活動など）やボランティア活動が活発なまち」だと思いますか。（○は1つだけ）

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |

問8 あなたは、住民同士のかかわりについてどう思いますか。（○は1つだけ）

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. とても必要だと思う    | 2. ある程度必要だと思う |
| 3. あまり必要だとは思わない | 4. 必要とは思わない   |

問9 個人情報の取扱いが難しい時代となっています。住民同士の支え合いのための個人情報の取扱いについて、あなたのお考えに最も近いものはつぎのどれですか。（○は1つだけ）

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 個人情報の共有はある程度必要である | 2. 個人情報は共有すべきではない |
| 3. その他（              | ）                 |

## C 地域活動（自助、共助）についておたずねします

問10 あなたは、どの程度のご近所付き合いをしていますか。（○は1つだけ）

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. とても親しく付き合っている（例：家族ぐるみで出かける）    |
| 2. わりと親しく付き合っている（例：地域の行事と一緒に活動する） |
| 3. 付き合いはしているがそれほど親しくはない（例：あいさつする） |
| 4. 付き合いはない → { 付き合いがない理由： }       |

問11 あなた（あなたの世帯）は、自治会（町内会）に加入していますか。（○は1つだけ）

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1. 加入している  | → { 加入していない理由 } |
| 2. 加入していない |                 |

問12 あなたは、地域のどのような活動や行事に参加していますか。（○はいくつでも）

- |                                      |                  |             |
|--------------------------------------|------------------|-------------|
| 1. 自治会（町内会）の行事                       | 2. 子ども会の行事       | 3. PTA活動    |
| 4. 地域3あい事業（地域住民のふれあい、学びあい、支えあいの活動事業） |                  |             |
| 5. 婦人会の行事                            | 6. 老人会の行事        | 7. ふれあいサロン  |
| 8. スポーツ活動                            | 9. 防犯活動          | 10. 防災活動    |
| 11. 避難訓練                             | 12. 体操教室         | 13. 神社や寺の行事 |
| 14. 地区のボランティア                        | 15. その他（         | ）           |
| 16. 参加していない                          | → { 参加していない理由： } |             |

問13 人と人とのつながりが薄れてきていると言われてしています。新たな支え合いの関係を築いていくためには、どのようなつながりが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. ご近所、自治会などのつながり
2. ボランティア活動を通じたつながり
3. 趣味のサークルなどを通じたつながり
4. 子育て、介護など同じ悩みをもつ当事者やその支援グループのつながり
5. 子どもの通園や通学時の見守りなど防犯活動等を通じたつながり
6. 防犯・防災活動を通じたつながり
7. 市内全体で特定の目的の活動を通じたつながり
8. その他（ ）

問14 あなたはどのような自助活動（自分の身は自分で守る、日頃から備える行動）を行っていますか。（〇はいくつでも）

1. テレビや新聞、ラジオ、インターネットなどで防災情報を確認している
2. 防災用品や備蓄品（水、食料品、懐中電灯など）を準備している
3. 防災用品や備蓄品（水、食料品、懐中電灯など）を定期的に確認している
4. 災害時や緊急時の連絡先を常に見える所に置いている
5. 災害時や緊急時の、家族との連絡方法や集合場所などを決めている
6. 災害時や緊急時に持ち出すものを準備している
7. 災害時に備えてタンスの固定や食器棚のものが飛び出さないような工夫をしている
8. 防災訓練や地域活動に参加するようにしている
9. 家族や友人、地域の人と、地域のことや災害について情報交換するようにしている
10. 日頃から健康づくりを心がけている
11. 避難行動要支援者の登録※をしている
12. その他（ ）
13. 特に何もしていない

※避難行動要支援者の登録

災害時において自ら避難することが困難であり避難の際に支援を要する方をあらかじめ登録してもらい、計画的に支援を行います。避難行動要支援者名簿に登録してほしい方は、

ア. 要介護3以上の介護保険認定者

イ. 身体障がい者の等級が1～3級を所持する身体障がい者（児）

ウ. 療育手帳の判定区分がA、B判定の知的障がい者（児） などです。

問15 これからの地域福祉は市民の参加や協力が必要ですが、次の活動の中であなたが、現在行っているもの、今後やりたいものがありますか。（それぞれのあてはまるもの全ての番号をご記入ください）

- |  |  |
|--|--|
| 1. 地域で暮らす高齢者への日常生活の援助（見守り、買い物、外出、ゴミ分別等）                            | 6. 不登校・ひきこもりの青少年に対する支援   |
| 2. 地域で暮らす障がいのある人への日常生活の援助（見守り、買い物、外出、ゴミ分別等）                        | 7. 病院や福祉施設での手伝いや話し相手   |
| 3. 高齢者や障がいのある人（児）の交流活動   | 8. 寄付、募金への協力   |
| 4. 点字、手話、要約筆記、朗読等のコミュニケーション支援                                      | 9. 健康づくりに関する活動   |
| 5. 子育て支援・子どもの世話  | 10. 地域のスポーツ活動、障がいのある人のスポーツ等の支援                                     |
| 7. 病院や福祉施設での手伝いや話し相手   | 11. 地域のゴミ拾いなどの環境美化活動   |
| 8. 寄付、募金への協力   | 12. 自然、環境教育、資源ゴミのリサイクル   |
| 9. 健康づくりに関する活動   | 13. 地域のまつりやイベントの手伝い  |
| 10. 地域のスポーツ活動、障がいのある人のスポーツ等の支援                                     | 14. 災害時や防災時の支援活動   |
| 11. 地域のゴミ拾いなどの環境美化活動   | 15. パトロール等の防犯、地域安全活動   |
| 12. 自然、環境教育、資源ゴミのリサイクル   | 16. 国際交流活動   |
| 13. 地域のまつりやイベントの手伝い  | 17. 町内会、自治会等の活動  |
| 14. 災害時や防災時の支援活動   | 18. 町内会、自治会以外の地域での活動   |
| 15. パトロール等の防犯、地域安全活動   | 19. 地域などでいろいろな人（子どもや高齢者、障がい者、外国人、生きづらさを感じている人などだれでも）が集えるたまり場づくりの支援 |
| 16. 国際交流活動   | 20. 今もっている得意分野を子どもや地域の方のために役立てること                                  |
| 17. 町内会、自治会等の活動  | 21. その他（   |
| 18. 町内会、自治会以外の地域での活動   | ）  |
| 19. 地域などでいろいろな人（子どもや高齢者、障がい者、外国人、生きづらさを感じている人などだれでも）が集えるたまり場づくりの支援 | 22. やっているものがない/やりたいものがない   |
| 20. 今もっている得意分野を子どもや地域の方のために役立てること                                  |  |
| 21. その他（   |  |
| ）  |  |



**現在行っているもの**

**今後やってみたいこと**

**D 地域の課題についておたずねします**

問16 あなたの住んでいる地域は住みやすいと思いますか。（○は1つだけ）

- |                  |   |              |
|------------------|---|--------------|
| 1. とても住みやすい      | → | （住みやすいと思う理由） |
| 2. どちらかといえば住みやすい | → |              |
| 3. どちらともいえない     |   |              |
| 4. どちらかといえば住みにくい | → | （住みにくいと思う理由） |
| 5. とても住みにくい      | → |              |

問17 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

- |             |           |        |
|-------------|-----------|--------|
| 1. 苦しい      | 2. やや苦しい  | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. ゆとりがある |        |



問21 現在、日常生活の困りごとや悩みごとは誰に相談していますか。(○はいくつでも)

- |                        |                    |                |
|------------------------|--------------------|----------------|
| 1. 配偶者                 | 2. 家族(親・子・兄弟姉妹等)   | 3. 親戚          |
| 4. 職場の同僚・上司            | 5. 友人・知人           | 6. 自治会役員       |
| 7. 保健連絡員               | 8. 医師や保健師          | 9. 民生委員・児童委員   |
| 10. 市役所の相談窓口           | 11. 社会福祉協議会        | 12. 地域包括支援センター |
| 13. 障がい者相談支援事業所        | 14. 生活困窮自立相談窓口     |                |
| 15. インターネットの掲示板等       | 16. その他( )         |                |
| 17. 相談はしたいが相談できる相手がいない | 18. 誰にも相談したいとは思わない |                |

問22 あなたの住んでいる地域に必要な活動(課題)は何ですか。(○はいくつでも)

- |                                   |                             |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 高齢者の家事の援助                      | 2. 高齢者の外出の援助                |
| 3. 高齢者の買い物の援助                     | 4. ごみ出しなどの簡単な作業援助           |
| 5. 障がいのある人の家事の援助                  | 6. 障がいのある人の外出の援助            |
| 7. ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯、障がい者世帯を見守る活動 |                             |
| 8. 障がいのある子どもとない子どもとの交流の機会をつくる活動   |                             |
| 9. 子どもにとっての安全な登下校と遊び場を提供する活動      |                             |
| 10. 子育て中の親を支援する体制の整備              | 11. 子ども同士、親同士のふれあい活動        |
| 12. 中高年の健康維持の啓発を目的とした活動           | 13. 近所付き合いや異世代交流がすすむイベントの開催 |
| 14. 防犯に関する活動                      | 15. 防災や災害救助に関する活動           |
| 16. 誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり(集いの場)  |                             |
| 17. 空き教室や空き店舗を使って交流の場をつくる活動       |                             |
| 18. その他( )                        | 19. 何も必要ない 20. わからない        |

問23 あなたの住んでいる地域で、問題や困りごとが生じた場合、どのような方法で解決するのがよいと思いますか。(○は1つだけ)

- |  |
|--|
| 1. 自分たちの生活に関わることから、住民同士で協力して解決したい      |
| 2. 地域のことに関心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい |
| 3. 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい         |
| 4. その他( )                              |

問24 地震や豪雨などの災害時、最も人命を救うことができるのは身近な地域の人たちによる救助活動、助け合いであり、特に、高齢者や障がいのある人のいる世帯などは災害時に支援が必要です。災害時に支援しやすい環境とするためには、普段からどのような取り組みが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |                                     |                  |
|-------------------------------------|------------------|
| 1. 隣近所の人と付き合いをする                    | 2. 自主防災組織づくりを進める |
| 3. 要支援者マップ*を作成するなどし、災害時の要支援者の把握を進める |                  |
| 4. 市の避難行動要支援者登録制度を広め、地域の支援体制づくりを進める |                  |
| 5. 市の避難行動要支援者制度に自ら登録する              | 6. その他( )        |



※要支援者マップ

地域に支援を必要な人を把握できるように地図などに記載する  
ようなものです。

また、小牧市では、いつ起こるかわからない、地震、風水害、土砂  
災害などの自然災害に対し、市民1人ひとりが正しく理解し、適切な  
備えを進めることが大切であることから、「小牧市防災 ガイドブック」  
を作成しています。

それぞれがお住いの地域の状況を確認し、できることから少しずつ  
取り組んでみてください。



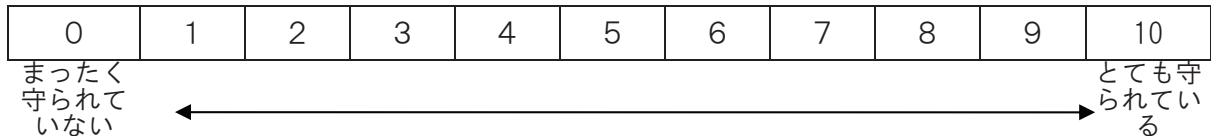
## E 人権や権利擁護について

問25 あなたは、子どもの権利や子どもの権利条約について知っていますか。(○は1つ)

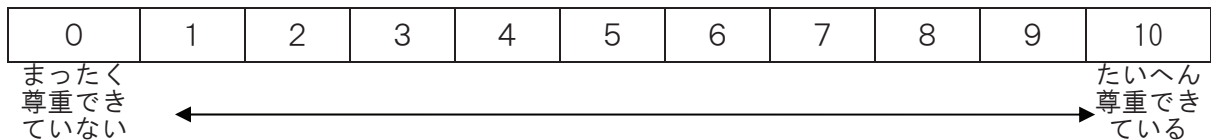
- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | 3. わからない |
|----------|---------|----------|

問26 人権教育・啓発に関する基本計画の中で、「すべての人々の人権が尊重され、相互に共存

し得る平和で豊かな社会を実現するため、「国民一人一人の人権の尊重の精神の涵養を図る」  
ことが不可欠とされていますが、あなたは「あなた自身の人権が守られている」と思いますか。  
(「まったく守られていない」を0点、「とても守られている」を10点として、あてはまる数字に○をご記入ください)



問27 自分の人権が守られることと同様に他の人の人権を尊重することも重要ですが、あなたは「あなたの周りの人の人権を尊重して生活している」と思いますか。(「まったく尊重できていない」を0点、「たいへん尊重できている」を10点として、あてはまる数字に○をご記入ください)



問28 あなたは、あなた自身の「ACP (アドバンス・ケア・プランニング) ※」についてご家族と話し合う機会がありますか。(○は1つ)

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1. 話し合っている | 2. 知っているが、話し合っていない |
| 3. 知らない    | 4. わからない           |

※人生の最終段階における医療・ケアの方針や、生き方を家族などと日頃から話し合い共有すること



## F 地域福祉を推進するために

問29 小牧市がめざすべき「福祉のまち」（福祉が充実しているまち）とはどのようなまちですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つだけ）

1. 福祉施設をはじめとした福祉サービスが充実したまち
2. 市民の福祉意識が高く、地域の支え合いやボランティア活動が根づいているまち
3. 障がいのある人や高齢者などの利用・外出に配慮されたバリアフリーのまち
4. その他（ ）
5. わからない

問30 新たな地域のつながりを築くためには、どのような取り組みを進めたらよいと思いますか。（○はいくつでも）

1. あいさつ運動
2. 自治会への加入促進
3. 地域3あい事業（地域住民のふれあい、学びあい、支えあいの活動事業）など世代をこえた交流活動の推進
4. 地域の食事会、交流会
5. 祭り、遊びなどの伝承
6. 子どもの見守りや防犯活動の推進
7. 趣味のサークルなど活動の促進
8. 災害時の支援体制づくりを通じた活動
9. 年齢、障がいの有無などに関係なく、だれもが暮らせる地域の居場所づくり
10. 広域（小学校区単位）でのつながりの強化
11. その他（ ）

問31 あなたは、小牧市社会福祉協議会を知っていますか。（○は1つだけ）

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

問31-1 <前問で「1. 知っている」に○をつけた方のみおたずねします。>

あなたが、小牧市社会福祉協議会の機関や実施している事業で知っているものはどれですか。

（○はいくつでも）

1. ボランティアセンター
2. 地域包括支援センター
3. 障害者相談支援事業所
4. 車いすセンター
5. 日常生活自立支援事業
6. 居宅介護支援事業所
7. 高齢者デイサービス事業
8. 訪問介護事業
9. 障害者デイサービス事業
10. 善意銀行
11. 赤い羽根共同募金
12. 三世代交流会助成事業
13. ふれあい・いきいきサロン事業
14. ふくし出前講座
15. ふれあいの家運営事業（あさひ学園、デイサービスひかり）
16. その他（ ）

問32 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（○は1つだけ）

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

問33 あなたが、災害時も含めた地域活動をするうえで、行政がどのような手助けをしてもらえばよいと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 活動したいと思った時に相談にのってくれる窓口
2. 学校や地域の施設などで、ボランティアの受け入れを増やすこと
3. ボランティア活動をしたい人と、お願いしたい人を結びつける仕組み
4. ボランティア活動の理解を図るための講座やイベント
5. リーダーや指導者となる人たちの研修や養成の機会
6. 活動に必要な機材や場所の提供
7. 寄付や助成金などの経済的な支援
8. 参加することで社会的な活動に結びつくような講座やイベント
9. 多少の謝礼や特典が得られること
10. 社会的な評価を得られること
11. その他（ ）

問34 あなたは地域活動を行うとしたら、どのような形で参加したいですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 曜日や時間が決められている活動
2. 年に数回程度のイベント・活動
3. 自分の都合にあわせて柔軟に参加できる活動
4. 人手が足りないときに助っ人的に参加できる活動
5. オンラインなどで参加できる活動
6. 自身の特技や才能が生かし、自由にできる活動
7. その他（ ）
8. 参加したいと思わない

問35 何らかの団体に所属しないで活動したいとする人が増えていますが、以下のような活動で参加してみたい、関心をもった活動はありますか。（〇はいくつでも）

1. スマートフォンで行う一人暮らし高齢者等の見守り（SNSので安否確認や声掛け）
2. 地域の困りごとや対応したほうがよいことなどをスマートフォンなどで市に知らせる活動（地域のみまわり）
3. 1, 2時間程度の空いた時間にできる活動
4. オンラインを活用して参加できる活動
5. 単発の活動を公的な機関等がマッチングしてくれる活動
6. オンラインなどで参加できる活動
7. SNSなどの呼びかけで、市民がそれぞれの地域で活動を行うが、SNSなどでその状況を見える化し、全体がつながって活動しているように感じる活動（例えば、地域清掃、〇〇チャレンジデーなど）
8. その他（ ）
9. わからない
10. 参加したいと思わない

問36 地域の活動や防災に関する知識や情報について、何によって提供されればよいと思いますか。（○はいくつでも）

- |                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 学校での教育                    | 2. 防災訓練・避難訓練の場      |
| 3. 防災に関する展示会やシンポジウム          | 4. 回覧板や地域の掲示板       |
| 5. 公民館や図書館などで行う防災に関する講座やセミナー |                     |
| 6. 大学の教授など専門家の講演会            | 7. 国や自治体で配布するパンフレット |
| 8. 市のホームページなどのインターネット        | 9. LINEやツイッター       |
| 10. 自治会などの会合や知人・友人等との会話      | 11. テレビやラジオ         |
| 12. 新聞や雑誌                    | 13. その他（ ）          |

問37 福祉に関するご意見など自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました

調査票は同封しています返信用封筒（切手不要）に入れて、●月●日（ ）までにポストに投函ください